

# 南相馬市里山再生モデル事業の概要

## モデル事業の目的

- 地域住民等の公園利用者の安全・安心に向けた環境づくり
- 事業成果について原子力災害を受けた里山の再生に寄与

## モデル地区概要

- モデル地区：国見山森林公園（南相馬市原町区高倉字東国見地内）
- 区域面積：約39ha(民有林（市有林）、一部国有林）

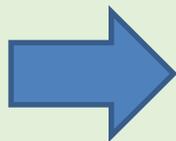
## 事業の内容

### 除染（H30～R1年度）

- 広場や施設周り及び遊歩道の面積約54,000m<sup>2</sup>の範囲について、堆積有機物残さ除去を行うとともに、一部の構造物を撤去しました。



除染実施前



除染実施後

### 森林整備（H30～R1年度）

- 広葉樹林の除伐（18.54ha）、ヒノキ人工林の間伐（7.88ha、間伐率16%）及び丸太筋工（L=732m）の設置などを実施しました。



実施前

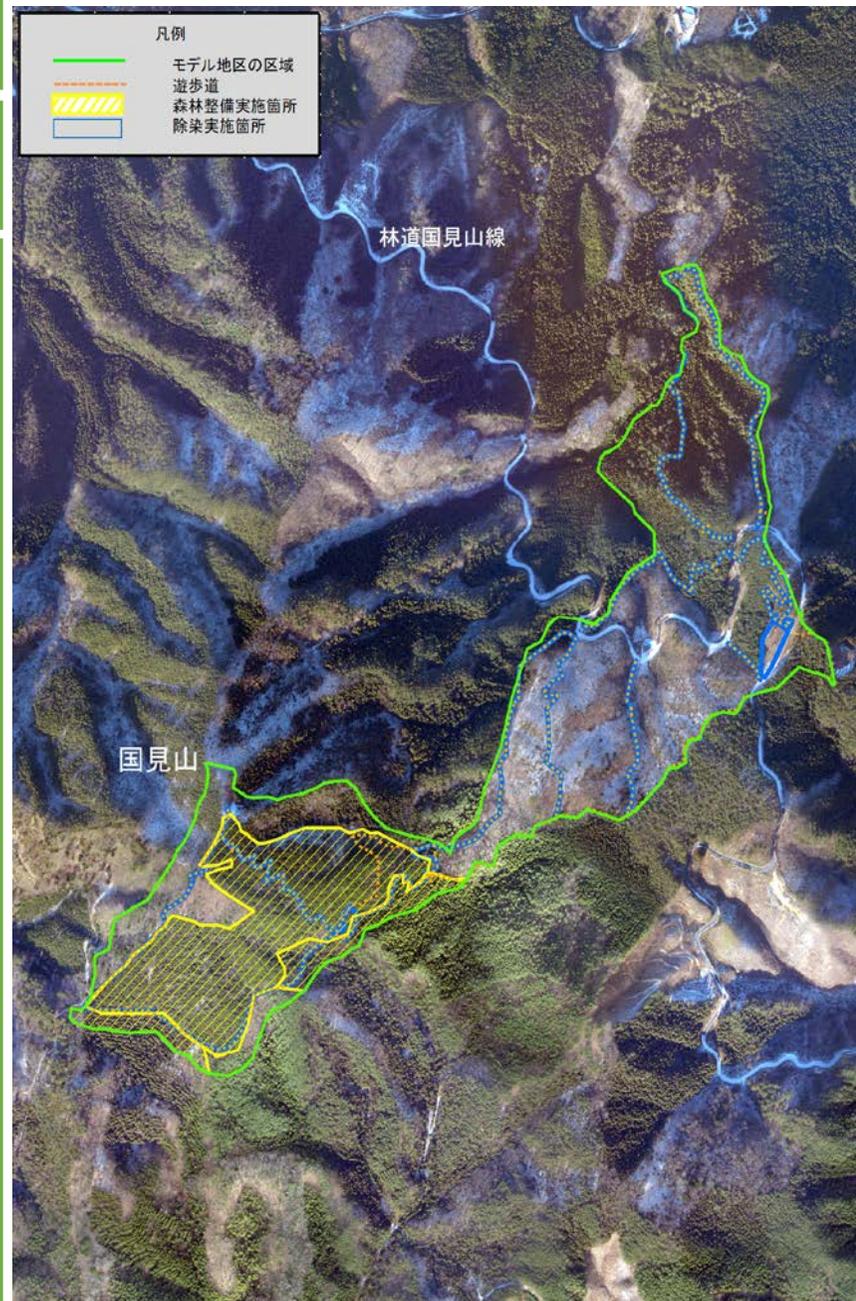
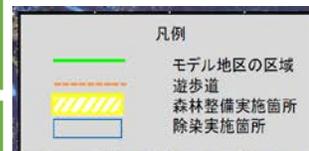


実施後

### 線量測定（H30～R1年度）

- H30からR1にかけて毎年モデル地区内の空間線量率を測定しました。  
（メッシュ測定：41（メッシュ数）、遊歩道等の歩行サーベイ：約6,179m 等）
- 空間線量率の測定にあわせて個人被ばく線量を測定しました。

## <モデル地区の概況図>



# 南相馬市モデル事業の結果

## 除染の結果

○空間線量率（高さ1m）の平均値（単位：μSv/h）

	除染前	除染後	低減率（物理学的減衰率）
	H29年10月	R2年1月	
平均（施設①,③(平らな場所)）	0.88	0.52	41%（18%）
平均（施設②,④～⑨(遊歩道内)）	1.44	1.11	23%（18%）
平均（遊歩道歩行モニタリング）	1.22	0.93	24%（18%）



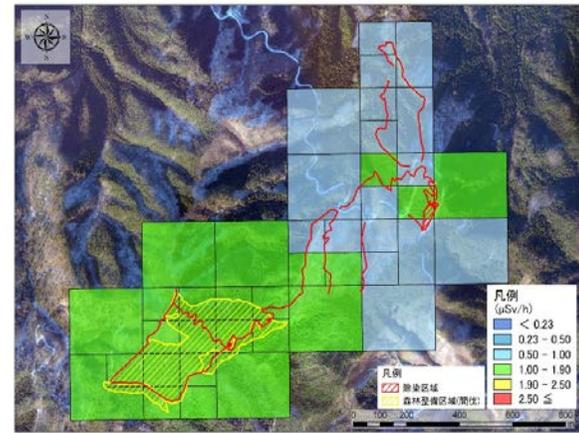
## 森林整備の結果

- 間伐等の森林整備により、地表面に光が届くようになり、下層植物の繁茂が見込まれ、表土の流出を抑制する効果や、根が土壌を保持する力が向上することによって、水源涵養機能、山地災害防止機能等の発揮も期待されます。
- 丸太筋工の設置によって土壌の安定が図られ、放射性物質を含む土壌の流出を抑制する効果が期待されます。
- 間伐等により整備された林内は、遊歩道周辺の森林環境が改善され、安全・安心に散策できる森林空間に変化しました。今後の利用再開が期待されます。
- 今回の森林整備により延べ388人日の雇用が生まれ、林業活動の継続が図られました。

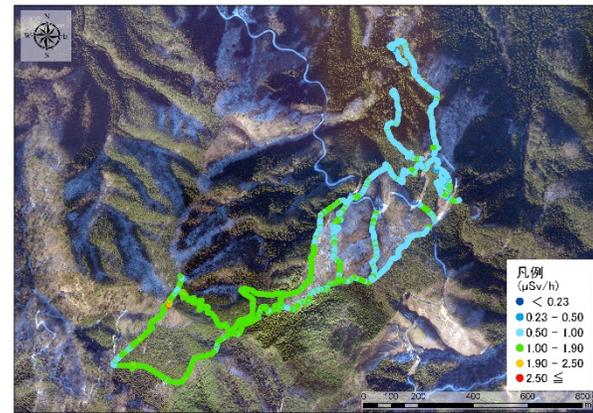
## 線量測定の結果

※空間線量率は実測値を基にR1年8月1日を基準日として算出

【メッシュ測定】  
地区平均(地上1m)は1.14 μSv/h、最大値は1.74 μSv/h、最小値は0.79 μSv/hでした。



【歩行サーベイ】  
平均は1.03 μSv/h、最大値は2.91 μSv/h、最小値は0.40 μSv/hでした。



## 【個人被ばく線量】

市役所へのヒアリングを行い、想定される利用形態（滞在時間156分）を設定し、個人被ばく線量を測定しました。その結果、1回の利用に伴う個人被ばく線量は、0.0018mSv（1.8μSv）でした。

※胸部X線検査1回あたりの被ばく線量は0.06mSv（60μSv）

## モデル事業の効果

- 除染によって線量が下がったことなどにより、地域住民等の公園利用者の安全・安心に向けた環境づくりに寄与したと考えられます。
- 除染と森林整備を一体的に実施することにより、快適な森林空間を創出し里山の再生に寄与したと考えられます。